

(シラバスNo.19)

科 目 名	就学支援特論	科目コード	24P-D3	
		科目群名	専門科目 (D 群)	
	Advanced Theory of School Attendance Support	必修／選択	選択	
		教職	小・中・高	
担当教員	澤田 真弓	単位数	2	

【実務内容（実務家教員の場合）】
該当しない

【授業概要】

我が国は、多様性を認めあう共生社会の実現に向けて歩みを進めている。その実現においては、幼児教育、義務教育、高等学校教育の全ての教育段階において、「障害者の権利に関する条約」に基づくインクルーシブ教育システムの理念を構築していくことが重要である。

本講義では、「障害者の権利に関する条約」採択以降、現在に至るまでの各種制度の整備とその運用状況について概観しながら、障害のある子供の教育に求められることについて考える。それらを踏まえ、多様な子供たちの就学相談や就学先決定のプロセスについて具体例を示しながら概説する。また、就学先決定等に関わる事例について、グループにて協議し、その結果を全体で共有することによって考えを深める。

【授業の到達目標】

1. 多様な子供たちへの教育相談・就学先決定へのプロセスについて理解することができる。
2. 具体的な事例を用い、就学先決定のプロセスごとに必要な支援や留意すべき事項等について説明することができる。

【授業の形態】

メディア授業の実施（あり）

<授業の特徴>（主に実施に◎、実施に○を付けてください）

形態	実施	具体的に実施すること
講義	○	・「障害者の権利に関する条約」採択からの動向 ・教育相談や就学先決定のプロセス
グループワーク・質疑	○	・就学先決定に関わる事例検討
演習	○	・事例に関わる支援計画等の作成
プレゼンテーション	○	・事例に基づき、必要な支援や留意すべき事項について検討結果を発表する。
制作		
その他 ()		

【授業計画】

回	内 容
1	障害のある子供の教育に求められること (通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する事項)
2	早期からの一貫した教育支援
3	障害の捉え方と対応
4	合理的配慮とその基礎となる環境整備
5	教育相談・就学先決定の在り方 (1) 事前の教育相談
6	教育相談・就学先決定の在り方 (2) 就学先決定の仕組み
7	教育相談・就学先決定の在り方 (3) 市区町村教育委員会の役割
8	情報を引継ぐための個別の教育支援計画等の作成と活用

9	就学後の学びの場の柔軟な見直しとそのプロセス（1）基本的な考え方とその対応
10	就学後の学びの場の柔軟な見直しとそのプロセス（2）事例検討（発表含む） （小学校通常の学級、通級による指導、特別支援学級等）
11	就学後の学びの場の柔軟な見直しとそのプロセス（3）事例検討（発表含む） （中学校進学、高等学校から大学進学等）
12	適切な支援を行うネットワークの構築
13	就学に関わる関係者に求められるもの
14	仮想事例による検討 （幼稚園から小学校への入学、外国にルーツのある児童生徒の就学等）
15	事例検討結果の報告（発表）
試験	
【履修上にあたっての準備】 ・各障害の特性等について、事前に学修しておくこと。	
【授業外学修（予習・復習）】 ・【参考図書】に示した「インクルーシブ教育システム構築データベース」のサイトにアクセスし、それぞれの困難な状況に対して、どのような合理的配慮の提供がされたのか閲覧し、その中で1事例をあげ、レビューできるように準備しておくこと。 ・事例検討で指摘された事項や様々な意見を参考に、まとめのレポート等を修正しておくこと。	
【評価方法】 ・授業への貢献（発表、レポート）（50%）、科目修得試験（50%）の割合で総合して評価する。	
【教科書】 ・文部科学省（2022）, 障害のある子供の教育支援の手引～子供たち一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて～, ジアース教育新社. ISBN 9784863716131 【文科省HP：障害のある子供の教育支援の手引～子供たち一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて～】 https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/tokubetu/material/1340250_00001.htm	
【参考図書】 ・独立行政法人国立特別支援教育総合研究所, インクルーシブ教育システム構築支援データベース（インクルDB）, https://inclusive.nise.go.jp/ ・学習指導要領及び解説（小学校・中学校・高等学校・特別支援学校・幼稚園は幼稚園教育要領）：文部科学省	